

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業	プログラミング	2	3	選択	講義	演習	実習	その他
					○	○		
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など					
教科書代、模擬問題集代、検定受験料金			全国商業高等学校協会情報処理検定プログラミング部門2級 情報系大学、専門学校進学希望者、将来情報系の就職を考 えている者、プログラミングに興味のある者					
科目概要	2章 アルゴリズム	評価観点	知識 技能	プログラムと情報システム開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。				
	思考 判断 表現			情報システムの開発に関する課題を発見し、根拠に基づいて創造的に課題解決をしている。				
				主体的 態度	プログラムの構造や企業内でのシステムの使用方法などを自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付けている。			
	1章 情報システムとプログラミング		評価方法		定期考査、小テスト、提出物、授業内課題、授業態度などにより評価を行う。			
5章 ハードウェアとソフトウェア								
3章 プログラムと情報システムの開発								
4章 情報システムの開発演習								
前年度履修すべき科目		なし						
継続で履修すべき科目		なし						

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		ライフプラン	2	3	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
副教材、電卓、補助プリント				金融リテラシーに関する基礎的な知識と技術を習得させ、その意義や役割を理解させるだけでなく、金融活動を計画的かつ合理的に行う能力と態度を育てる。					
科目概要	1 ライフプラン ・計画的なお金の使い方 ・「働く」を考える			評価観点	知識技能	ライフプランを学ぶ目的を理解し、知識と技術を活用し、問題を解決する方法を身につけている			
	2 賢い消費の仕方 ・消費者トラブルから身を守る ・お金を借りるということ				思考判断表現	様々な課題に関する問題解決方法を考え、問われている内容を理解分析し表現できている			
	3 金融・経済の仕組みを理解する ・金融の仕組み ・経済の仕組み				主体的態度	金融活動について関心を持ち、その知識を習得しようと意欲的に取り組んでいる。			
	4 金融商品・保険の活用 ・金融商品 ・生命保険・損害保険			評価方法	定期考査、単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物などにより評価を行う。				
5 支え合う社会の仕組みを知る ・社会保険制度 ・税金、社会保険料									
前年度履修すべき科目		なし							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		課題研究	3	3	必修	講義	演習	実習	その他
								○	協力媒体との連携など
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
特になし				地域や社会と繋がることで、自ら学び、考え、発見した課題を解決するための論理的な思考力や他者と協働しながら課題を解決する力を育成し、社会人基礎力を養う。					
科目概要	・活動のテーマ・狙い・ターゲット・活動によって与えられる効果を各自で立案 ・個人テーマの全体発表 ・研究テーマの絞り込みと先行事例の研究 ・活動の方向性と検証内容の策定 ・実践活動 ・検証作業 ・効果及び課題の確認 ・活動報告のまとめと全体発表			評価観点	知識技能	社会問題を解決する方法について学ぶ。新たなビジネスを考えそれを実現させるための手法を知る。実現のための資金調達方法や必要書類を知る。			
					思考判断表現	課題発見のためのクリティカルシンキング、グループワークによる協働、自らの考えとチームメイトとのアイデアを磨き新たなビジネスにつなげる方法を学ぶ。			
					主体的態度	話し合いや資料作成、情報集めといった活動に前向きに取り組むことができるか。チームメイトの意見を尊重し、お互い高めあう意見交換ができていくか。			
							評価方法	ルーブリック評価、レポート、提出物など	
前年度履修すべき科目		なし							
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		観光ビジネス	2	3	必修	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
教科書				経営、商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者。					
科目概要	Introduction			評価観点	知識技能	企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。			
	なぜ観光ビジネスを学ぶのか				思考判断表現	観光ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、観光ビジネスに関する課題を発見し、対応策を考える。			
	第1章 観光ビジネスの概要				主体的態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、活動する。			
	第2章 観光ビジネスの主な産業								
第3章 観光ビジネスのマーケティング									
第4章 観光資源の発見と活用									
第5章 地方自治体の観光政策									
第6章 観光ビジネスと観光まちづくり									
前年度履修すべき科目		なし		評価方法	定期考査、単元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、発表、提出物などにより評価を行う。				
継続で履修すべき科目		なし							

教科		科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態			
商業		財務会計Ⅰ	2	3	選択	講義	演習	実習	その他
						○	○		
教材費・準備物等				進路・資格・興味・関心など					
教科書、副教材、電卓 検定受験料及び模擬問題集購入代金				全国商業高等学校協会簿記実務検定Ⅰ級、日本商工会議所簿記検定Ⅱ級、経営学・商学系大学等への進学希望者、企業への就職希望者					
科目概要	第3編 損益計算書 ア 損益計算の意味と基準 イ 収益と費用の分類 ウ 損益計算書の作成 エ 株主資本等計算書の作成			評価観点	知識技能	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。			
	第4編 その他の会計処理 ア 役務収益と役務原価 イ 外貨建取引 ウ 税効果会計				思考判断表現	企業会計に関する法規と基準、会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、根拠に基づいて創造的に課題に対応している。会計的側面から企業を分析する力を身に付けている。			
					主体的態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			
	第5編 財務諸表の活用 ア 財務諸表分析 イ 連結財務諸表の作成			評価方法	定期考査、單元ごとの小テスト、授業時でのワークシート、提出物などにより評価を行う。				
前年度履修すべき科目		財務諸表Ⅰ							
継続で履修すべき科目		なし							